

Joie™

elevate™
booster

ジョイー ブースターチャイルドシート エレベート

取扱説明書／保証書

適合基準：ECE R44/04 G1/2/3

適応体重：9kg から 36kg まで

年齢の目安：1歳頃から12歳頃まで



必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

目次

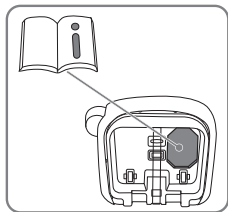
はじめにお読みください	4
本書の保管について	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
自動車との適合について	6
本製品の情報	7
表記の説明	8
危険・警告・注意の表記について	8
強調・禁止の表記について	9
その他の表記について	9
本取扱説明書で使用するイラストについて	9
使用できるお子さまの条件	10
自動車の座席への取り付けに関して	12
取り付け、使用できない座席	12
取り付けが可能な座席と不可能な座席	17
自動車シートベルトの種類の確認	18
内容物の確認	20
各部の名称	22
本製品に関わる部位、部品の名称	22
自動車に関わる部位、部品の名称	23
使用上の注意事項	24
自動車の座席への影響について	37
緊急時の操作	38
本製品の組み立て	39
基本的な使いかた	45
バックルの使いかた	45
バックルの外しかた	45
バックルの留めかた	46

ヘッドレストの高さ調節	47
幼児股ベルトの位置の調節	48
ファーストモードでの使いかた	50
座席への取り付けかた	51
幼児肩ベルトの使いかた	59
幼児肩ベルトのゆるめかた	59
幼児肩ベルトの締めつけかた	60
幼児肩ベルトの高さ調節	62
お子さまの座らせかた	64
お子さまの降ろしかた	69
セカンドモードでの使いかた	70
幼児ベルトの取り外し	72
お子さまの座らせかた	79
お子さまの降ろしかた	88
シートモードでの使いかた	89
シートバックの外しかた	90
お子さまの座らせかた	95
お子さまの降ろしかた	105
お手入れのしかた	106
カバー類の外しかた	106
パッド、カバー類の洗いかた	109
ベルト類・本体のお手入れ	111
保管のしかた	112
廃棄のしかた	112
保証書	114

はじめにお読みください

本書の保管について

あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまにチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

自動車との適合について

本製品は、シートベルトの基準である ECE-R16、または同等の基準に適合した自動車の座席の 3 点式シートベルトによって自動車の座席に固定して使用します。

ただし、3 点式シートベルトが装備された座席でも、シートベルトの種類、座席のサイズ、自動車バックルの形状、製造工場、製造時期等の条件によっては使用できない場合があります。

また、本製品は、すべての自動車、すべての座席で利用できるものではなく、車種や座席によっては取り付けができない場合もあります。

本製品が取り付けられる自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

<http://www.katoji.co.jp/>

本製品の情報

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE-R44/04 に適合するユニバーサル仕様のチャイルドシートです。ユニバーサル仕様のチャイルドシートに対応したほとんどの自動車の座席に取り付けて使用できますが、すべての座席に取り付けて使用できるとは限りません。

自動車の取扱説明書において、適合年齢グループ用のユニバーサル仕様チャイルドシートを取り付けて使用可能と指示している場合、本製品が使用できる可能性があります。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱い販売店にお問い合わせください。

製品の種類 チャイルドシート

適応体重 体重 9kg から 36kg まで

製品グループ ユニバーサル Group 1/2/3

主な原材料 樹脂・金属・繊維

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

その他の表記について

表記	表記の内容
 ポイント！	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE-R44/04の基準に適合した、ユニバーサル仕様のチャイルドシートです。本製品は、質量グループ1,2,3に適合しており、体重9kgから36kgまでのお子さまにご使用いただけます。

本製品は、自動車の進行方向に対して、前向きに取り付けて使用します。体重9kgから体重18kg未満の間は、本製品の幼児シートベルトを使用し、体重15kgから体重36kgまでは、本製品の幼児ベルトを使用せず、自動車のシートベルトを装着して使用します。この、それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

ポイント！

使用できる期間が重複する間は、お子さまの体格に応じて、また、年齢を目安として使用してください。

警告

本製品の適合する ECE 基準は、使用可能な期間をお子さまの体重（シートモードでは身長）によって規定しています。取り付けの向きは、必ず、使用できる期間の範囲に従ってください。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

使用できる期間 お子さまの体重	特徴
ファーストモード 9kg~18kg まで 目安年齢：1 歳頃～4 歳頃	 本製品を、自動車の3点式シートベルトで取り付け、お子さまは本製品の幼児ベルトを装着して使用します。
セカンドモード 15kg~36kg まで 目安年齢：3 歳～12 歳頃	 本製品の幼児ベルトは使用せず、お子さまは、自動車の3点式シートベルトを装着します。 本製品のヘッドレストで自動車の肩ベルトの高さを調節します。
シートモード 22kg~36kg まで 目安年齢：6 歳～12 歳頃	 お子さまが成長し、本製品のシートバックの使用が適さなくなったら、シートバックを取り外して使用します。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用できない座席

本製品では、自動車の座席の3点式シートベルトを使用します。ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、適合車種一覧を参照してください。

⚠ 危険

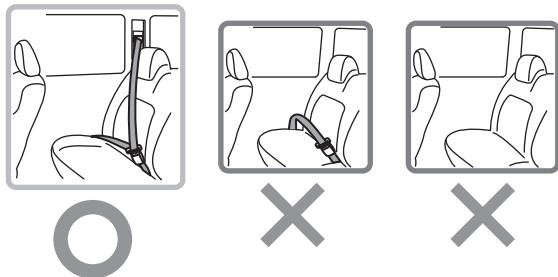


以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

本製品は、3点式シートベルトを使用する、チャイルドシートです。座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



⚠ 危険



以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

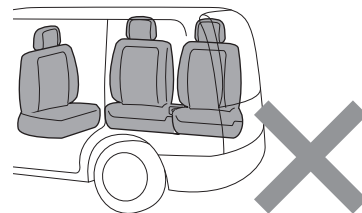
パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的シートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では本製品を使用できません。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付け使用できません。



危険

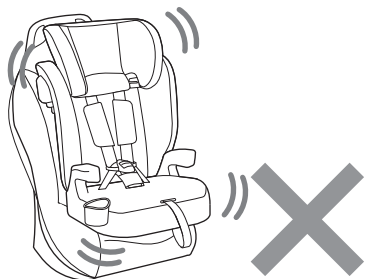
危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。

また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



危険

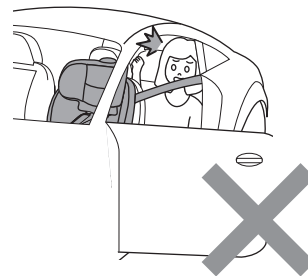
危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

2ドア車の助手席や、片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。なお、本製品では助手席への取り付けは禁止しております。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定し、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。

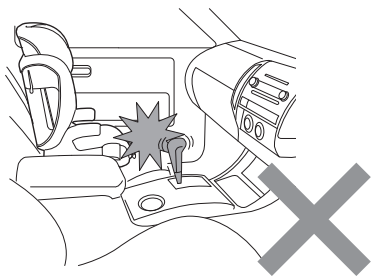


**危険****危険**

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

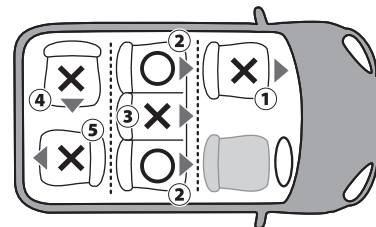
本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は、助手席では使用しないでください。



その他、しっかりと取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、座席のシートベルトの長さ、シートベルトのバックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがってもしっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

取り付けが可能な座席と不可能な座席



① 助手席

取り付け、使用してはいけません。

② 2 列目以降、左右ドア側座席

取り付け可能です。

③ 2 列目以降、中央座席

取り付け、使用してはいけません。

④ 進行方向に向かって横向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

自動車シートベルトの種類の確認

本製品は、ECE R16 に準拠した 3 点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するよう設計されております。

3 点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている 3 点式シートベルトの種類を確認してください。

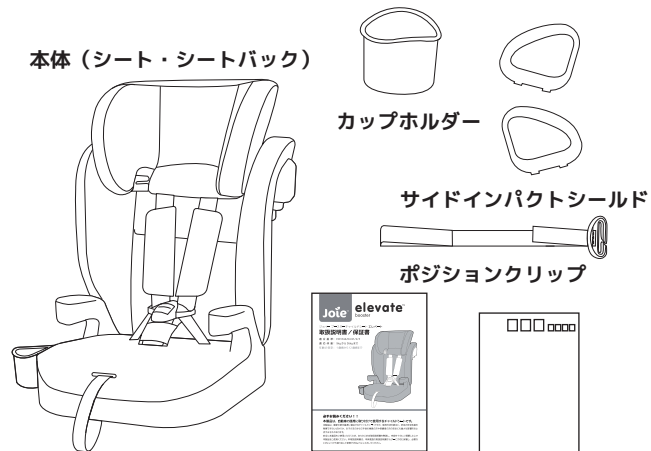
シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	○	ファーストモードでは使用可
		✕	セカンドモード / シートモードでは使用不可
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して使用してください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	✕	使用できません。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、チャイルドシート固定機構 (ALR) に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	ファーストモードの場合 チャイルドシート固定機能 (ALR) に切り替えて使用してください。
		○ 注意	セカンドモードおよび シートモードの場合 シートベルトを最後まで引き出すと危険です。必ず、シートベルトを一度巻き戻してチャイルドシート固定機構 (ALR) を解除して使用してください。
その他	パッシブシートベルト・2 点式 5 点式シートベルトなど。	✕	使用できません。

⚠ 危険

シートベルトの種類が適合していても、P12「取り付け、使用できない座席」に該当する座席には本製品を取り付けてはいけません。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



取扱説明書（本書） ユーザー登録はがき



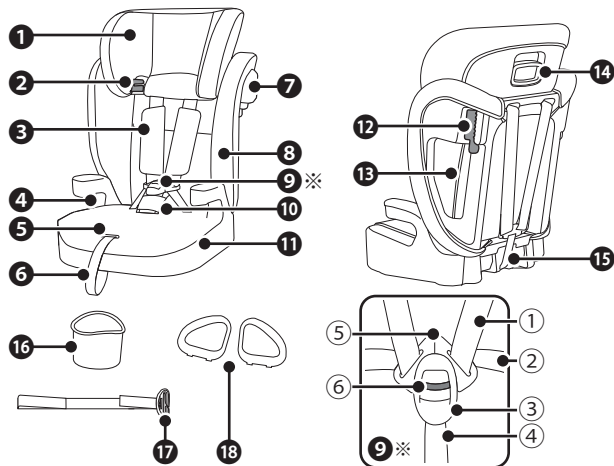
警告

お子さまがかぶる、口に入れるなどすると、窒息するおそれがあります。本製品のビニール袋などの梱包材は、開封後は直ちに破るなどした上で、お子様の手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品に関わる部位、部品の名称

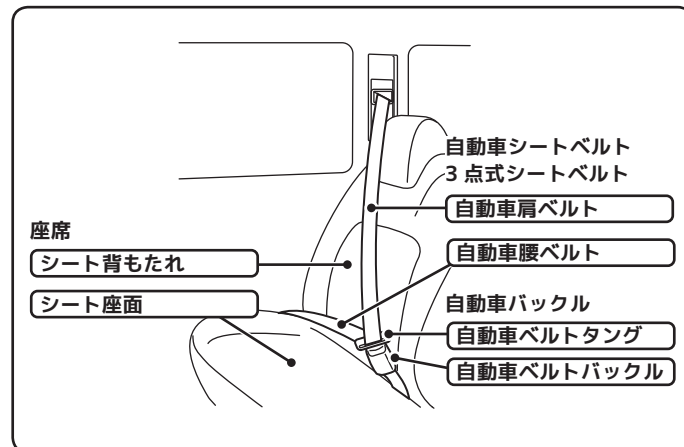
本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



- | | |
|------------------|------------------|
| ①ヘッドレスト | ⑫ロックオフ |
| ②肩ベルトガイド | ⑬ベルトパス |
| ③肩ベルトパッド | ⑭ヘッドレストアジャストレバー |
| ④サイドベルトパス | ⑮バックベルト |
| ⑤アジャストボタン（内側） | ⑯カップホルダー |
| ⑥アジャストベルト | ⑰ポジションクリップ |
| ⑦サイドインパクトシールド（⑱） | ⑱サイドインパクトシールド（⑦） |
| ⑧シートバック | ⑨※ |
| ⑨バックル／幼児ベルト | ①幼児肩ベルト ④幼児股ベルト |
| ⑩股ベルトパッド | ②幼児腰ベルト ⑤差込タング |
| ⑪シート | ③受けバックル ⑥バックルボタン |

自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

⚠ 危険



危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準の ECE R44/04 に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの体重の範囲が定められています。必ず、P10 の「使用できるお子さまの条件」の指示に従ってご使用ください。

正しく自動車の座席に固定、設置して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定、設置して使用してください。

⚠ 危険

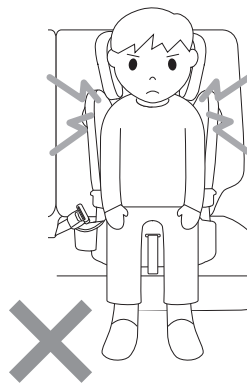


危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

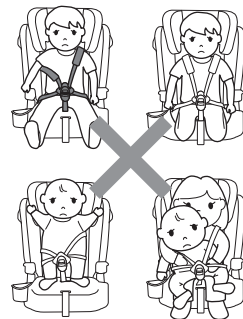
体型が合わない場合は使用しないこと

お子さまの体重が P10 の「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまったような場合、または本製品を調整してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。



お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調整して、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、幼児ベルト、自動車シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



⚠ 危険

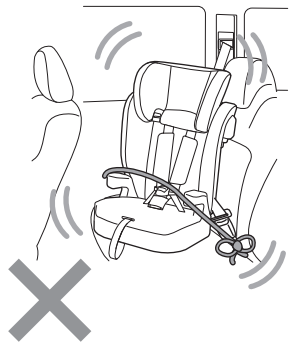


危険

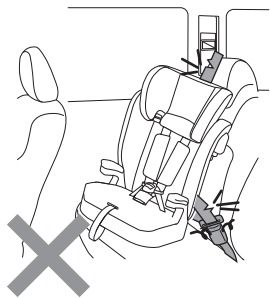
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、適合する車種の3点式シートベルトで使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、自動車シートベルト以外のものを使用してはいけません。また、自動車シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。自動車シートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、自動車シートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



損傷した自動車シートベルトでの取り付け、使用をしないこと
損傷している自動車シートベルト（自動車ベルトタング、自動車ベルトバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に自動車シートベルトが切断したり自動車ベルトバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



本取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本取扱説明書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

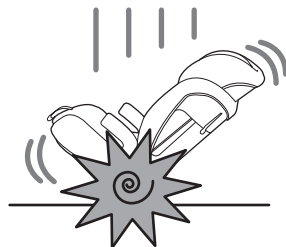
⚠ 危険



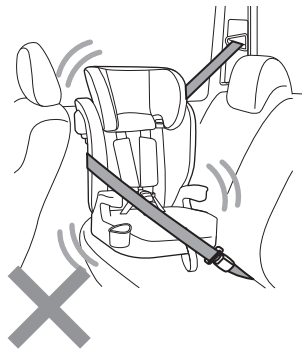
危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと
本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、前向きに取り付け設置して使用します。横向き、後ろ向きなど本取扱説明書において指示していない向きで座席に取り付けてはいけません。



⚠ 危険

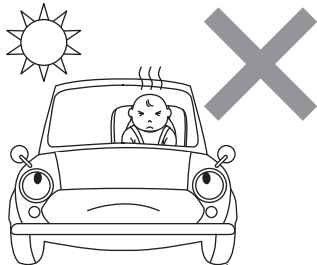


危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、幼児ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解するまでは本製品を使用しないこと

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。

⚠ 警告



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

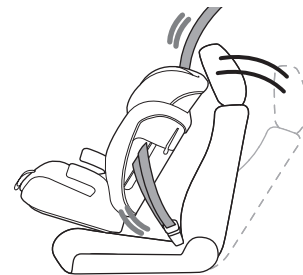
走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車シートベルトや他の部品に触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性がありますので、走行前には、毎回本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作または座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の取り付けの状態を確認すること

本製品を取り付けた後に、取り付けした自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後には、必ず、本製品の取り付けの状態を確認し、ゆるんでしまっていた場合には、本製品を取り付けなおしてください。



**警告****警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

幼児ベルト、自動車シートベルトにねじれないこと

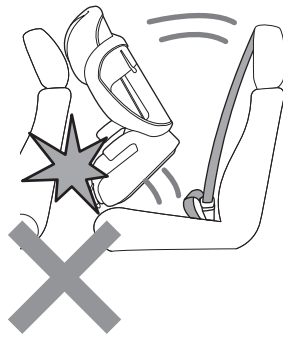
幼児ベルト、自動車シートベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しません。幼児ベルト、自動車シートベルトはしっかりと締め付け、正しく使用し、ねじれがないようにしてください。

また、腰ベルトや自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るようにして、使用してください。



車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

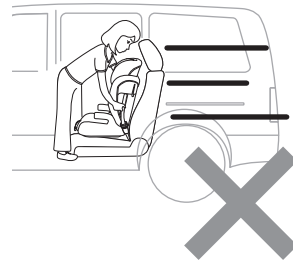
お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

**警告****警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

走行中は、本製品を操作しないこと

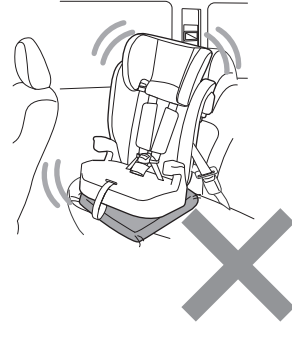
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

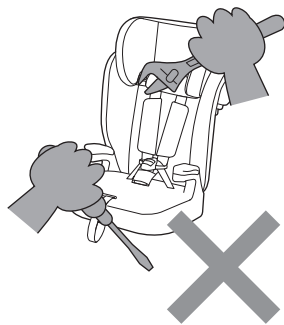


**警告****警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリーや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



パッド類、カバー類などの部品を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。カバー類や、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

**警告****警告**

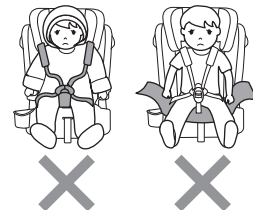
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

不適切な着衣では使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズが大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調整してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないてください。



**警告****警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

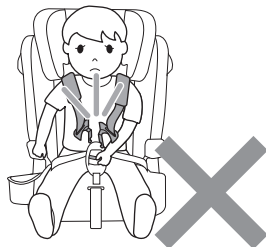
自動車シートベルトを正しく使用すること

セカンドモードおよびシートモードで使用する場合、自動車シートベルトを正しく使用してください。

自動車肩ベルトの高さを適切に調節し、自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るようにしてください。

バックル、自動車バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

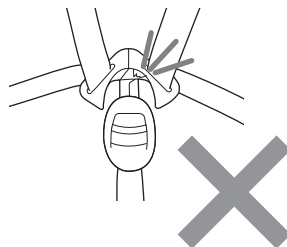
お子さまがバックル、自動車バックルに触れると、バックル、自動車バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはこれらに触れないように言い聞かせ、適宜、バックル、自動車バックルが正しく留まっていることを確認してください。

**警告****警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

バックルや幼児ベルトに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、幼児ベルトに損傷がある、幼児ベルトを締めつけることができない、など、バックルや幼児ベルトに異常が生じた場合は、ただちに本製品の使用を中止してください。



本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

**注意****注意**

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。

カップホルダーに熱い飲料を入れないこと

自動車の揺れや、制動により、中身の飲料がこぼれ、ヤケドや汚損のおそれがあります。カップホルダーには、蓋をしたペットボトルなどの飲料を入れてください。

車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、バックルや、差込タング、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

**注意****注意**

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるよう、本書は、本体背面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

自動車の座席への影響について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強くしっかりと取り付け、設置される必要があります。これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。

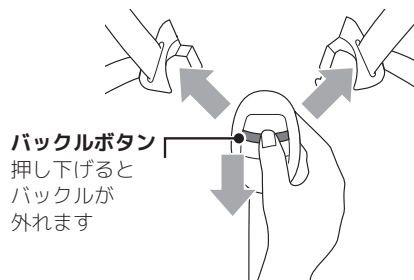
**警告**

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、ファーストモードの場合は、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、幼児ベルトや自動車シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

セカンドモード、シートモードの場合には、自動車バックルを外して、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。自動車バックルが外れない場合には、市販のシートベルトカッターなどを使用して自動車シートベルトを切断し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。



本製品の組み立て

本製品を組み立てます。(シートモードで使用する場合を除く)

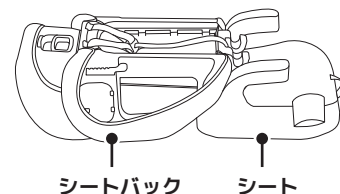


注意

組み立て作業中は、お子さまを近づけないこと

お子さまが、挟まれてケガをするおそれがあります。本製品の組み立ては、自動車内では行わず、室内の安全な場所で、お子さまを近づけないで行ってください。で行ってください。

- 01** 本製品を箱から取り出した状態(組み立て前)は下図の通りです。シートバックと、シートが接合されておらず、それぞれ表裏が逆になった状態です。

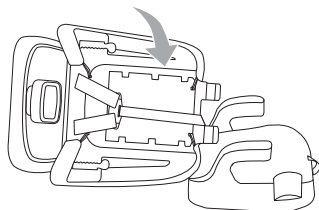


注意

シートバックとシートは、幼児ベルトで繋がっています

シートバックとシートは接合されてはいませんが、幼児ベルトによって繋がっています。どちらか一方を持ち上げると、他方がぶら下がりますので、強くぶつかけたり、他の人、ものにあたらないよう注意してください。

- 02 シートバックを下図のように回転させ、表側を向けます。

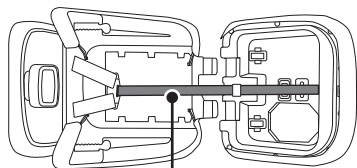


ポイント！

回転させにくい場合、バックルを外すと回転しやすくなります。ただし、バックルを外すと、幼児ベルトがねじれたり、引っかかりやすくなるおそれがありますので、ご注意ください。

参照：P45 バックルの使いかた

- 03 バックベルトにねじれがないことを必ず確認してください。
バックベルトにねじれがある場合は、シートバックを反対方向に回転させるなどして、ねじれがない状態にします。

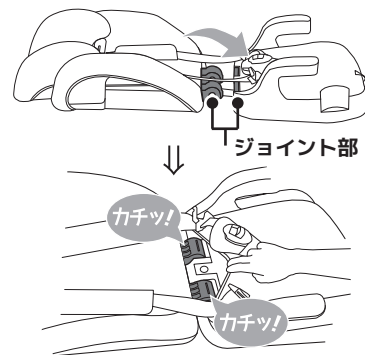


バックベルト

ポイント！

バックベルトにはねじれがなく、幼児ベルト（幼児股ベルト、幼児肩ベルト、幼児腰ベルト）にねじれが生じた場合は、バックルを一旦外して、幼児ベルトのねじれを解消して、バックルを留めなおしてください。

- 04 シートバックのジョイント部を、シートのジョイント部に合わせて、カチッと音がするまで、しっかりとめ込みます。シートバック、シートのカバーとベルト類を挟み込まないように注意して、シートのジョイント部に、シートバックのジョイント部を上からはめ込むようにしてください。



- 05 シートバックがカチッと音がして固定されるまで、シートバックを立てます。シートバックが立った状態で固定されます。

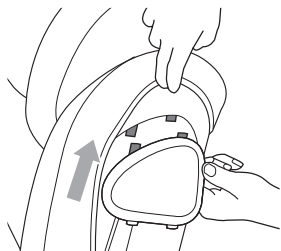


**注意**

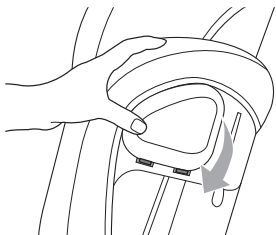
シートバックとシートのカバーやベルト類を接合部で挟まないように注意してください

シートバックとシートは接合部にカバーや、ベルト類が挟まれていると、シートバックとシートが突然外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

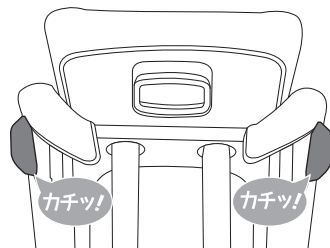
- 06** 左右のサイドインパクトシールドを、シートバックに取り付けます。サイドインパクトシールドには左右がありますので、左右を間違えないように注意してください。
- 07** シートバックのカバーを少しめくりあげて、サイドインパクトシールドの上部（2 か所）のつめをシートバックの穴に差し入れます。



- 08** シートバックのカバーを少しめくりあげて、サイドインパクトシールドの下部（2 か所）、横部（1 か所）のつめをシートバックの穴に差し入れて、押し込みます。



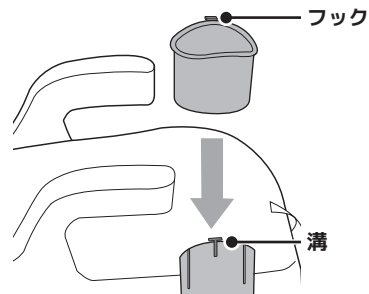
- 09** カチッと音がするまで、サイドインパクトシールドをしっかりと押し込んでください。

**注意**

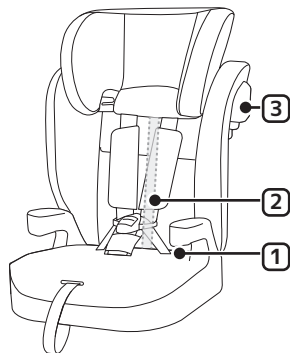
シートのカバーをつめで咬み込まないようにご注意ください
サイドインパクトシールドを取り付ける穴の一部は、シートのカバーに被っています。つめを差し入れる際に、シートのカバーを咬み込ませないようにしてください。

つめを折らないように注意してください
つめを無理に押し込もうとすると、つめが折れる場合があります。つめの差し入れが、かたい場合、シートのカバーを咬み込んでいないか、上部のつめがしっかり差し込まれているかを確認してください。

- 10** カップホルダーのフックと、シートの溝の位置を合わせ、カップホルダーをカチッと音がするまで差し込みます。



- 11** これで、組み立ては完了です。最後に以下のチェックリストを確認します。問題がある場合は、組み立てなおしてください。



チェックリスト

- ① シートバックと、シートが確実に取り付けられており、カバー、ベルト類が挟みこまれていないこと
- ② 幼児ベルト、バックベルトにねじれがないこと
- ③ サイドインパクトシールドが左右とも確実に取り付けられていること

基本的な使いかた

本製品は、お子さまの成長に合わせて、ファーストモード、セカンドモード、シートモードの3種のモードで使用します。それぞれのモードにより、使用方法が異なります。

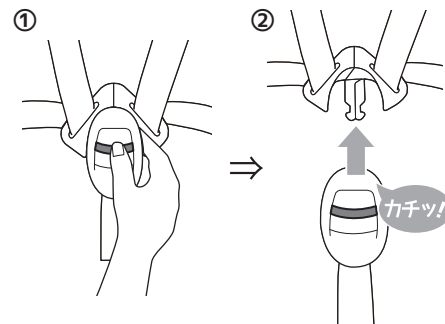
ここでは、いずれのモードにおいても共通する基本的な操作、また、重要な操作について説明します。

バックルの使いかた

バックル（幼児ベルト）は、ファーストモードのみで使用します。

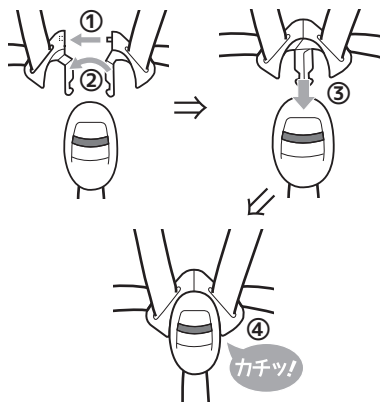
バックルの外しかた

- 01** バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②カチッと音がして、差込タングが外れます。



バックルの留めかた

- 01** ①向かって右の差込タング上部の突起を、左の差し込み穴に差し入れ、②右の差込タングを、左の差込タングに重ねるようにします。
③そのまま、受けバックルに差し入れ、④カチッと音がするまで差し込みます。



- 02** 軽く幼児肩ベルトを引いて、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

⚠ 危険

バックルは正しく留めること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠ 注意

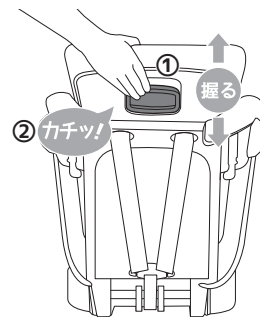
バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ヘッドレストの高さ調節

ファーストモードとセカンドモードにおいて、ヘッドレストの高さを調節します。本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。ファーストモードでは幼児ベルトの高さが調節され、セカンドモードでは、自動車肩ベルトの高さが調節されます。お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと幼児肩ベルトまたは自動車肩ベルトの高さを適切に調節してください。

- 01** ①ヘッドレストアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。②適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすとカチッと音がしてヘッドレストが固定されます。



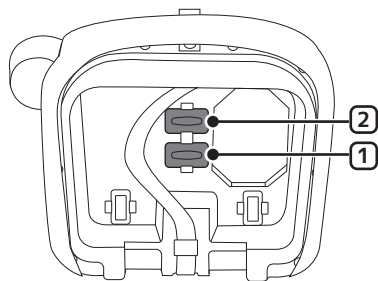
⚠ 注意

お子さまを乗せた状態での調節に注意

お子さまの乗せたまま、ヘッドレストの高さを調節する場合には、バックル、自動車バックルを外して、お子さまの頭を前にかがませて、ゆっくりと慎重に行ってください。

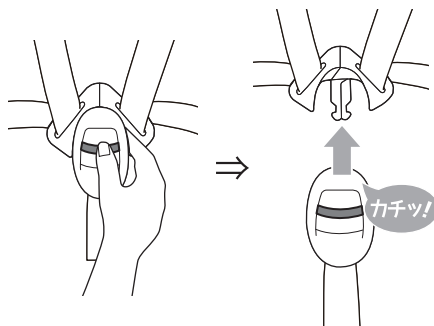
幼児股ベルトの位置の調節

お子さまの成長、体格に応じて、幼児股ベルトの位置を前後に調節することができます。

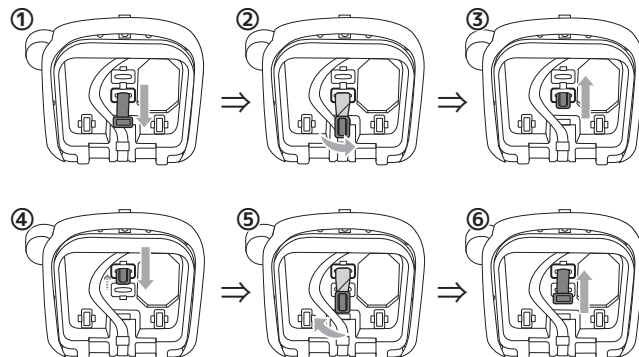


- ① より小さなお子さまの使用に適しています。
 ② より大きなお子さまの使用に適しています。

01 あらかじめ、バックルを外しておきます。



- 02 ① シート裏面から幼児股ベルトを引っ張り、固定タングを外します。
 ② 固定タングを 90 度回転させ、
 ③ シートの表側に抜き取ります。
 ④ 取り出し穴の位置を変え、固定タングを 90 度回転させて、幼児股ベルトを差し入れます。
 ⑤ 固定タングを逆方向に 90 度回転させて、
 ⑥ 幼児股ベルトが抜けないようにします。



⚠ 注意

受けバックルの向きに注意

受けバックルの向きが間違っていると、バックルが使用できません。バックルボタンを外側（シートの先端側）にして、幼児股ベルトを差し入れてください。

ファーストモードでの使いかた

ファーストモードは、体重 9kg から体重 18kg まで（目安年齢 1 歳頃～4 歳頃）使用できます。

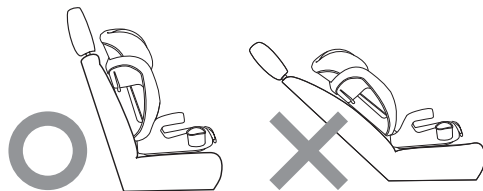
シートバックとシートを組み立て、3 点式シートベルトで取り付け、お子さまは本製品の幼児ベルトを着用します。

使用できる期間 お子さまの体重	特徴
ファーストモード 9kg～18kg まで 目安年齢：1 歳頃～4 歳頃	 本製品を、自動車の 3 点式シートベルトで取り付け、お子さまは本製品の幼児ベルトを装着して使用します。

⚠ 危険

シートバックとシートを確実に固定すること

シートバック、シートが確実に固定されていない状態で使用すると、事故や急制動の際に、シートバックが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



座席への取り付けかた

⚠ 危険

使用可能な範囲を守ること

ファーストベビーモードでは、体重 9kg から体重 18kg まで（目安年齢 1 歳頃～4 歳頃）使用できます。この範囲に満たないお子さまは本製品を使用できません。また、この範囲を超えたお子さまは、セカンドモード、でご使用ください。

幼児肩ベルトの高さが合わなくなったら使用しないこと

幼児肩ベルトの高さを適切な位置に調節した際、幼児ベルトの長さが足りず、バックルが固定できない場合、体重が 15kg 以上であれば、セカンドモードで使用してください。

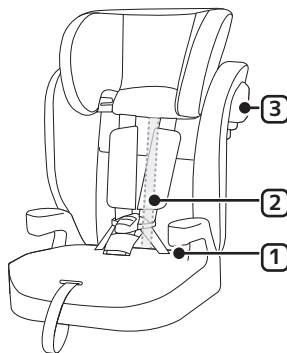
参照：P62 幼児肩ベルトの高さ調節

⚠ 警告

お子さまを乗せたまま、本製品を取り付けないこと

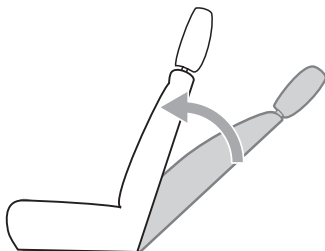
お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 01 P39 ～ P44「本製品の組み立て」に従い、本製品が正しく組み立てられた状態になっていることを確認します。



- ① シートバックと、シートが確実に取り付けられており、カバー、ベルト類が挟みこまれていないこと
- ② 幼児ベルト、バックベルトにねじれがないこと
- ③ サイドインパクトシールドが左右とも確実に取り付けられていること

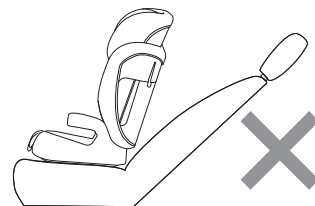
- 02 本製品を取り付ける座席がリクライニング可能な場合は、立てた状態にします。



⚠ 危険

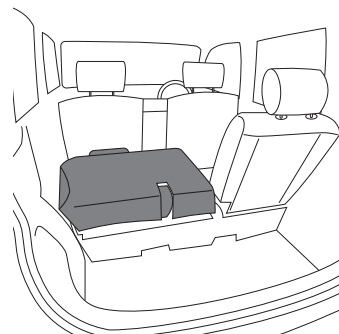
座席のリクライニングを倒さないこと

座席のリクライニングを倒した状態では、本製品を正しく取り付けることができません。

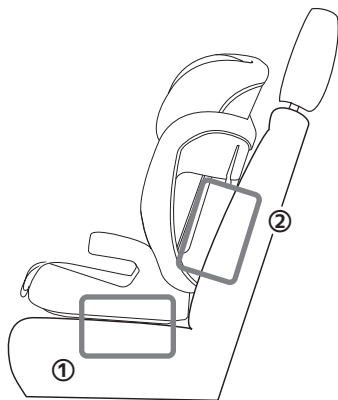


可倒式の座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



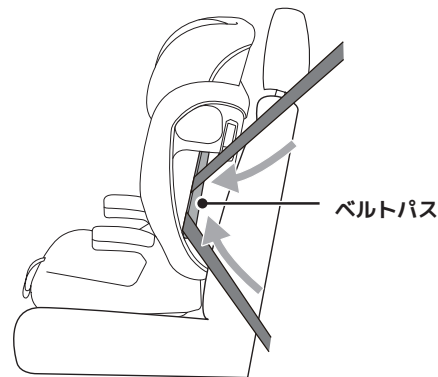
- 01** 本製品を取り付ける座席に、本製品を前向きにします。
- ①シートの底面がシート座面に、②シートバックがシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



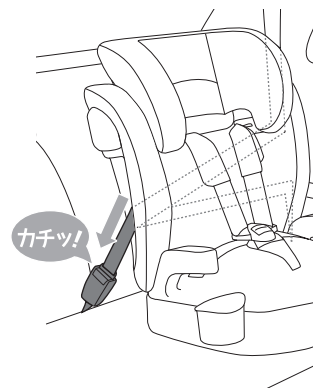
ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の場合の説明です。

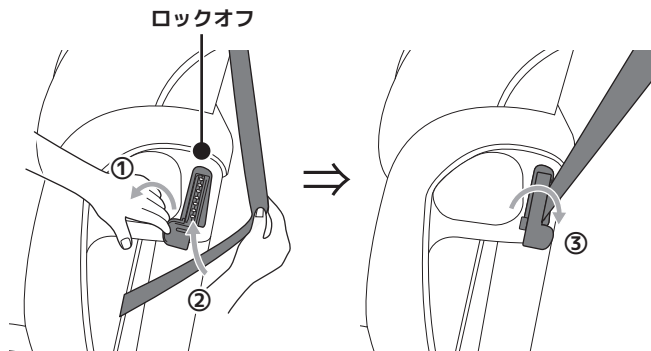
- 02** 自動車シートベルトを、ベルトパスに差し入れます。



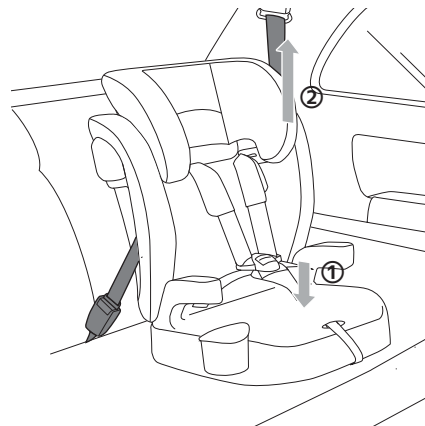
- 03** そのまま、反対側のバックベルトパスまで自動車ベルトタングを通し、自動車シートベルトにねじれない事を確認して、②自動車ベルトタングを自動車ベルトバックルにカチッと音がするまでしっかりと差し込んで、留めます。



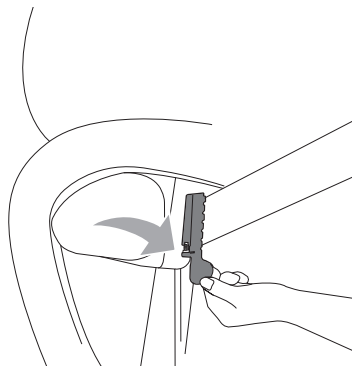
- 04** 自動車のドア側（自動車肩ベルトの取り出し口側）の①ロックオフを開き、自動車肩ベルトにねじれや、よれがでないよう注意しながら、②自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れたら、③ロックオフを開いている手を放し、ロックオフを閉じ、ロックオフが自動車肩ベルトをかみ込むようにします。



- 05** ①シートを押さえながら、②自動車肩ベルトの取り出し口近く（自動車のドア側）で自動車肩ベルトを握り、きつく締めあげてください。



- 06** 今一度、ロックオフが確実に閉じられていることを確認します。

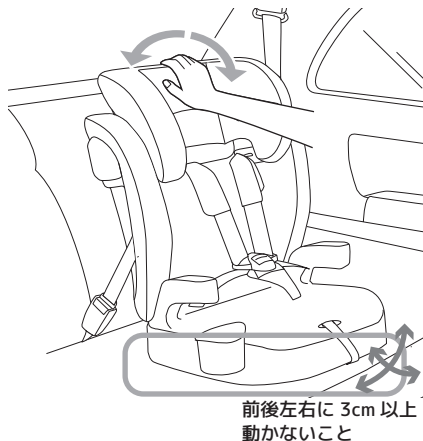


ポイント！

本製品の締めつけが完了後、自動車シートベルトの固定機能を働かせてください。自動車シートベルトの固定機能の働かせかたは、自動車の取扱説明書を参照してください。

自動車ベルトバックルが長すぎたり、自動車ベルトバックルの位置が前方過ぎる座席では、本製品をしっかりと取り付けられません。

- 07** ヘッドレストを持って、前後左右に動かして、シート底面が 3cm 程度以上動かないことを確認します。取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、もう一度 05 の作業を行ってください。

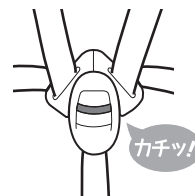


幼児肩ベルトの使いかた

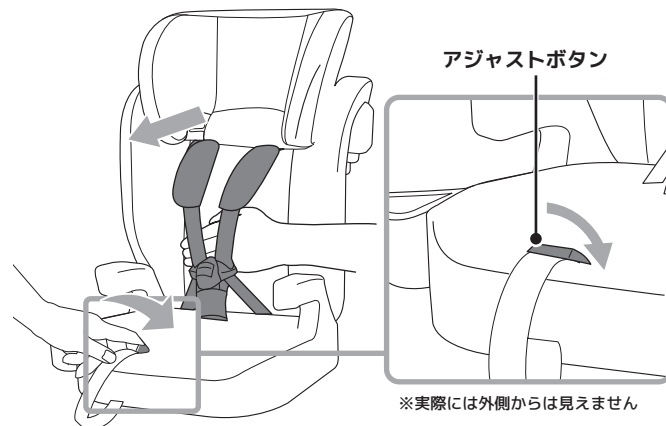
幼児ベルトは、ファーストモードのみで使用します。

幼児肩ベルトのゆるめかた

- 01** あらかじめバックルを留めます。



- 02** 片手で左右の幼児肩ベルトを束ねて持ち、アジャストベルトの取り出し口の中にある①アジャストボタンを押しながら、②幼児肩ベルトを手前に引くと、幼児肩ベルトが引き出されます。



**警告****幼児肩ベルトは左右同じ長さに調節すること**

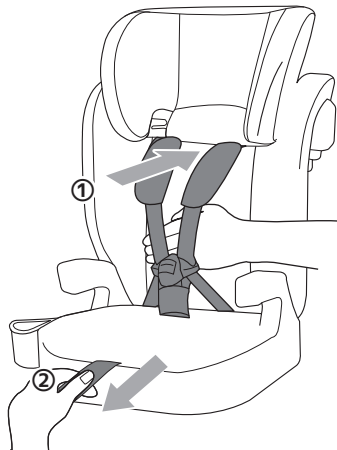
幼児肩ベルトの左右の長さが異なると、お子さまが幼児ベルトから抜けたり、幼児ベルトが絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

幼児肩ベルトの締めつけかた

01 あらかじめバックルを留めます。



02 ①左右の幼児肩ベルトに片手を添えて、②アジャストベルトを手前に引くと、幼児肩ベルトが締めつけられます。

**注意****片手を添えて、ゆっくりと締めつけること**

お子さまの乗せた状態で幼児肩ベルトを締めつける場合、勢いよく締めつけると、お子さまが必要以上に圧迫されるおそれがあります。

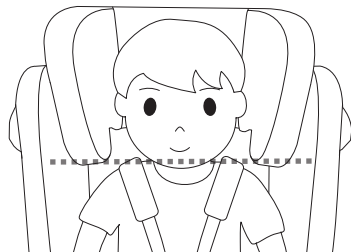
大人の手のひらが幼児肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度までゆっくりと締めつけてください。

**ポイント！**

お子さまを実際に乗せる場合、幼児肩ベルトをゆるめて⇒お子さまを乗せ⇒バックルを留めてから⇒締めつける、操作を行います。

幼児肩ベルトの高さ調節

- 01 ヘッドレストを上下に調節して、幼児肩ベルトをお子さまの肩の高さに調節します。

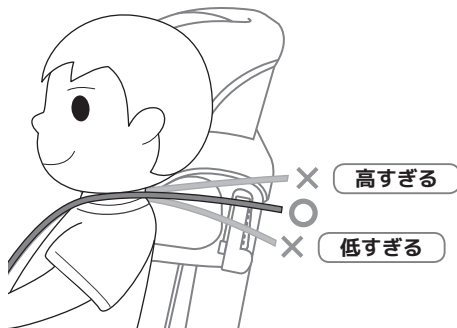


参照：P47 ヘッドレストの高さ調節

⚠ 危険

幼児肩ベルトの高さを適切に調節すること

幼児肩ベルトは、お子さまの肩と同じ高さに調節します。幼児肩ベルトが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 危険

幼児肩ベルトの高さが合わなくなったら使用しないこと

幼児肩ベルトの高さを適切な位置に調節した際、幼児ベルトの長さが足りず、バックルが固定できない場合、体重が 15kg 以上であれば、セカンドモードで使用してください。

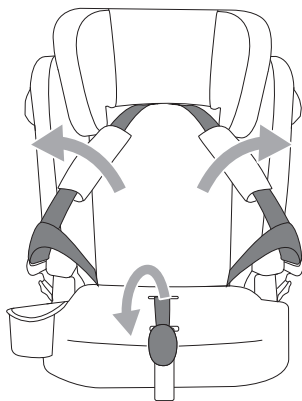
参照：P62 幼児肩ベルトの高さ調節

お子さまの座らせかた

- 01** あらかじめ幼児肩ベルトの高さを適切に調節し、バックルを外し、幼児肩ベルトを十分にゆるめておきます。

参照：P59 幼児肩ベルトの使いかた

- 02** お子さまがバックル、幼児ベルトの上に座らないよう、差込タンク、受けバックルをそれぞれ外側に出しておきます。



⚠ 注意

受けバックル、差込タンク、その他のものの上にお子さまが座らないようにすること

ケガ、故障、破損のおそれがあります。受けバックル、差込タンクの上にお子さまを座らせないように注意してください。また、お子さまが座る前には、必ず、本製品の上におもちゃなどの異物が乗っていないことを確認してください。

- 03** お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、幼児股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。
- 04** 両足を幼児股ベルトの間にに入れて、両腕を幼児肩ベルトの間に通し、幼児ベルトにねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。



👉 ポイント！

お子さまの体格に合わせ、必要に応じて、幼児股ベルトの前後を調節してください。

参照：P48 幼児股ベルト位置の調節

幼児ベルトがきつくてバックルを留めにくい場合、無理にバックルを留めず、幼児肩ベルトをゆるめてから留めてください。

参照：P59 幼児肩ベルトの使いかた

⚠ 危険

バックルに異常がある場合は使用しないこと

カチッと音がしないなど、バックルに異常が認められる場合は、本製品を使用しないでください。

⚠ 警告

幼児ベルトをねじらないこと

バックルを留める前に、幼児ベルトにねじれがないことを確認してください。幼児ベルトにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

バックルに手を触れないよう言い聞かせること

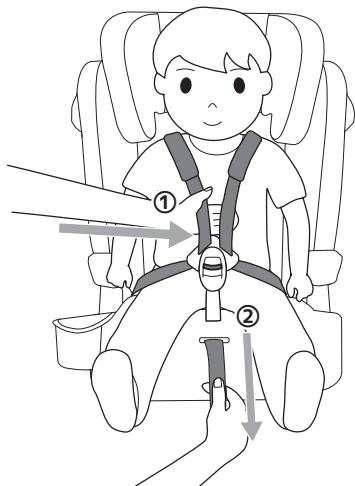
お子さまが成長し、様々なことに興味を持つようになると、バックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

常日頃から、バックルには手を触れないよう、言い聞かせるようにして、本製品の使用中は、適宜、安全の確認をするようにしてください。

05 腰ベルトがお子さまの骨盤の上に乗るようにしてください。



- 06 ①幼児肩ベルトとお子さまの間に、手のひらを差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、幼児ベルトを締めつけていきます。差し込んだ手のひらが幼児肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



⚠ 危険

アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること

幼児ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャストベルトを、勢いよく引かないでください。

強く幼児ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の手のひらが差し込める程度に締めつけるようにしてください。

- 07 最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、幼児ベルトに、ゆるみやねじれがないかを確認してください。

お子さまの降ろしかた

- 01 バックルを外して、お子さまの腕を幼児肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが幼児肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。幼児肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

👉 ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の方が常に手を添えて乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろするたびに、幼児肩ベルトの高さが適切かどうかを確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

セカンドモードでの使いかた

セカンドモードは、体重 15kg から体重 36kg まで（目安年齢 3 歳～ 12 歳頃）使用できます。

シートバックとシートを組み立てます（P39 ～ P44 参照）。

ファーストモードとは異なり、本製品の幼児ベルトは使用せず、ヘッドレストにより、自動車肩ベルトの高さを適切に調節して、お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを着用します。

ヘッドレストを最も高い位置に調節しても、幼児肩ベルトの高さが、お子さまの肩より低い位置でしか調節できなくなったら、セカンドモードに切り替えて使用してください。

使用できる期間 お子さまの体重	特徴
セカンドモード 15kg～36kg まで 目安年齢：3 歳～ 12 歳頃	 本製品の幼児ベルトは使用せず、お子さまは、自動車の 3 点式シートベルトを装着します。 本製品のヘッドレストで自動車の肩ベルトの高さを調節します。

⚠ 危険

自動車肩ベルトの高さが合わなくなったら使用しないこと

セカンドモードでの使用時、ヘッドレストを最も高い位置に調節しても、お子さまの肩が自動車肩ベルトよりも高い位置になるまで成長した場合、シートモードで使用してください。

⚠ 危険

シートバックとシートを確実に固定すること

シートバック、シートが確実に固定されていない状態で使用すると、事故や急制動の際に、シートバックが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

幼児ベルトの取り外し



警告

必ず、幼児ベルトを取り外すこと

セカンドモードで使用する場合、幼児ベルトを取り外します。幼児ベルトを付けたままセカンドモードで使用すると、幼児ベルト、バックルがお子さまにあたったり、絡まったりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

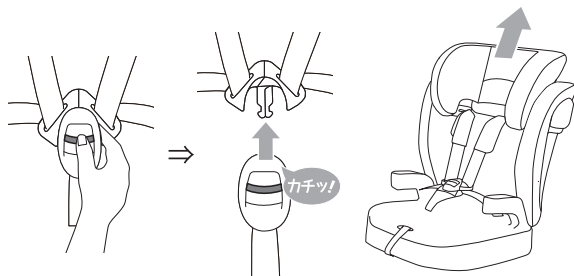


注意

取り外した幼児ベルト、股ベルトパッド、肩ベルトパッドは、無くさないよう大切に保管すること

お子さまがおもちゃにするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。取り外した幼児ベルト、股ベルトパッド、肩ベルトパッドは、無くさないようお子さまの手の届かない場所に大切に保管してください。

- 01** あらかじめ、バックルを外し、ヘッドレストを最も高い位置に調節しておきます。

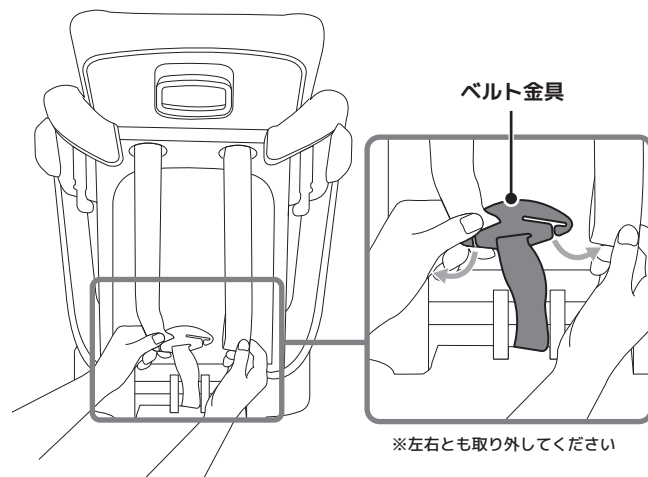


ポイント！

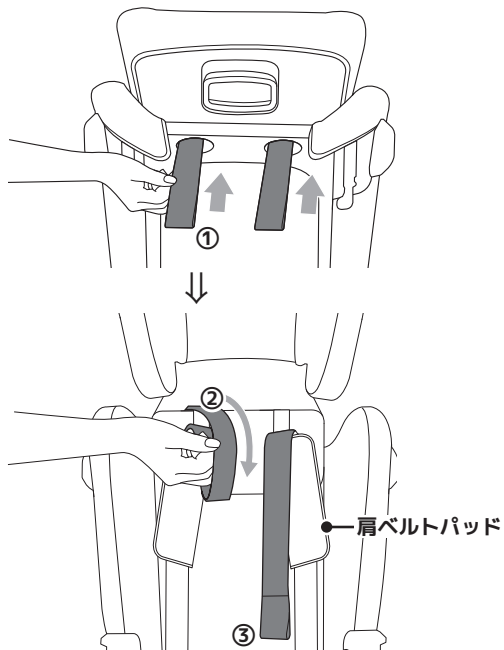
幼児ベルトが短くて以下の操作がしにくい場合には、少し幼児肩ベルトをゆるめておいてください。

参照：P59 幼児肩ベルトの使いかた

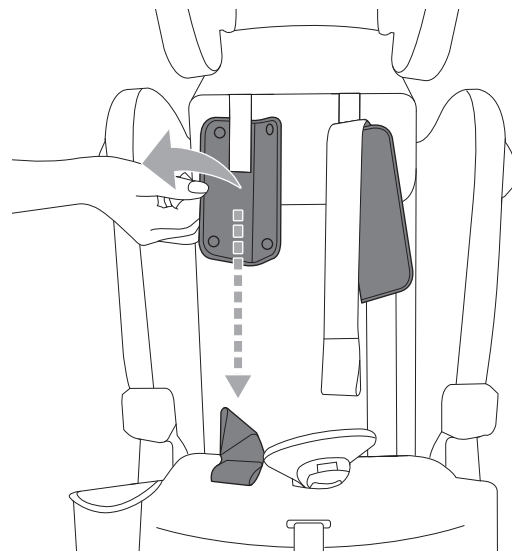
- 02** シートバック背面の、ベルト金具から、左右の幼児肩ベルトを抜きます。



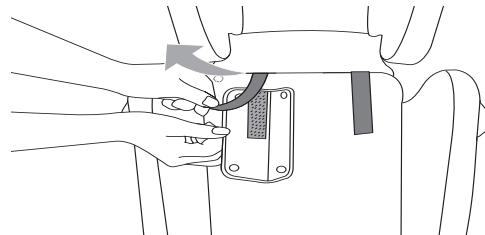
- 03** 幼児肩ベルトを左右とも、①取り出し穴に押し込むようにし、②表側から抜き出します。③幼児肩ベルトは、肩ベルトパッドにぶら下がった状態になります。



- 04** 肩ベルトパッドのホックボタンを外して開き、幼児肩ベルトを取り外します。左右とも同じようにしてください。



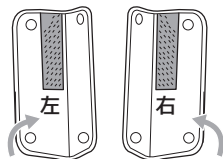
- 05** 肩ベルトパッドを留めている面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにしてください。



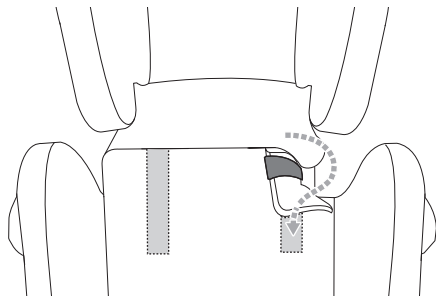
注意

肩ベルトパッドの向きに注意すること

肩ベルトパッドを取り付け直す場合、左右、上下を間違わないように注意してください。ホックボタンを外側にして、面ファスナーのある方を上にして取り付けます。



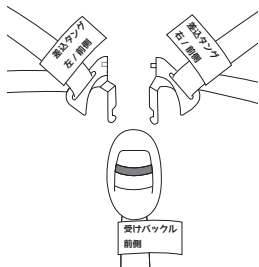
06 残ったベルトを内側に入れます。左右とも同じようにしてください。



07 幼児股ベルトと幼児腰ベルトを抜き取ります。

ポイント！

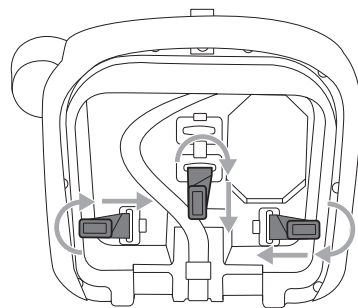
幼児股ベルト、幼児腰ベルトには向きがあります。これらのベルトを戻す場合、向きを間違えないように注意してください。取り外す前に、あらかじめ向きを記載したシールをベルトに貼るなどしておくと、取り付け直しが容易になります。



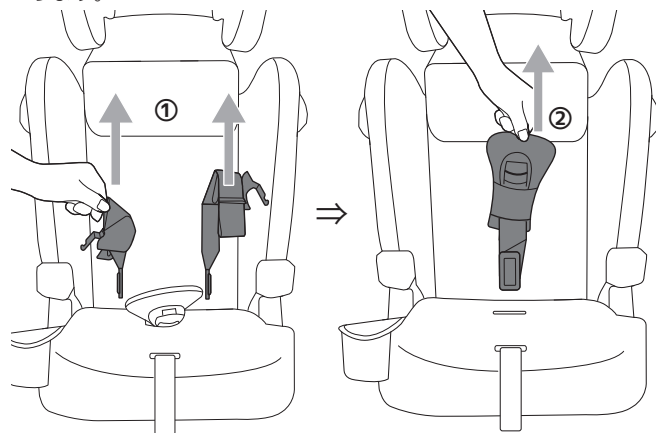
08 P48の「幼児股ベルトの位置の調節」の要領で、シートから幼児股ベルトと幼児腰ベルトを抜き取ります。

- ① シート裏面から幼児股ベルト、幼児腰ベルトを少し引き出します。
- ② 固定タングを90度回転させ、
- ③ それぞれの取り出し穴から抜きます。

参照：P48 幼児股ベルトの位置の調節



09 シート表側から、①幼児腰ベルト2本と、②幼児股ベルトを抜き取ります。



- 10 バックベルトをシートに収納します。

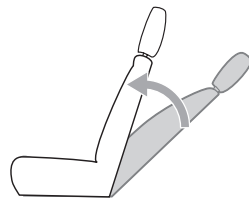
必ず、P90 の「シートモードでの操作 01 ～ 05」を参照して、バックベルトを収納し、シートバックとシートを組み立てなおしてください。

参照：P90 シートモードでの操作（バックベルトの収納）

- 11 取り付けは、逆の手順で行ってください。各ベルトの向きに注意しながら、取り付けしてください。

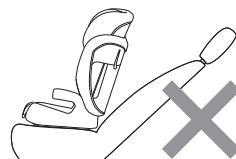
お子さまの座らせかた

- 01 本製品を使用する座席がリクライニング可能な場合は、立てた状態にします。



⚠ 危険

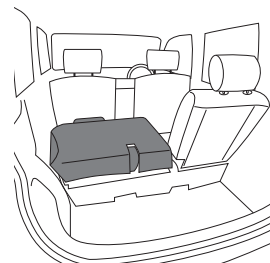
座席のリクライニングを倒さないこと
座席のリクライニングを倒した状態では、
本製品を正しく使用することができません。



⚠ 危険

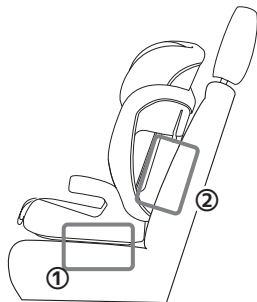
可倒式の座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、思わぬ事故につながるおそれがあります。

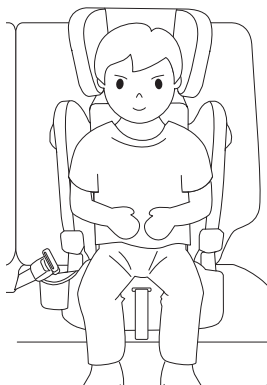
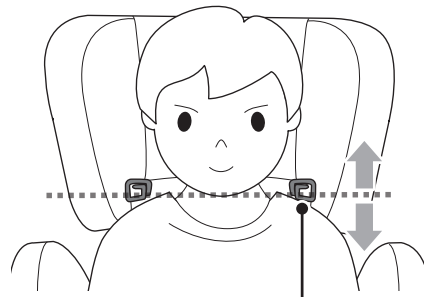


02 本製品を前向きにして置きます。

①シートの底面がシート座面に、②シートバックがシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。

**ポイント！**

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の場合の説明です。

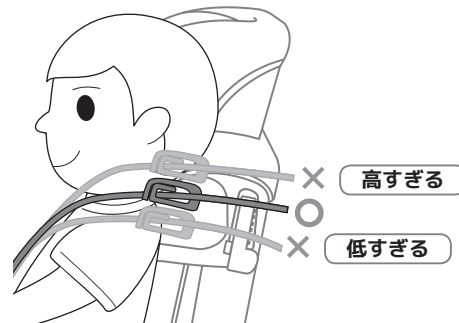
03 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。**04** ヘッドレストの高さを調節して、肩ベルトガイドがお子さまの肩の高さと同じ高さになるようにします。

肩ベルトガイド

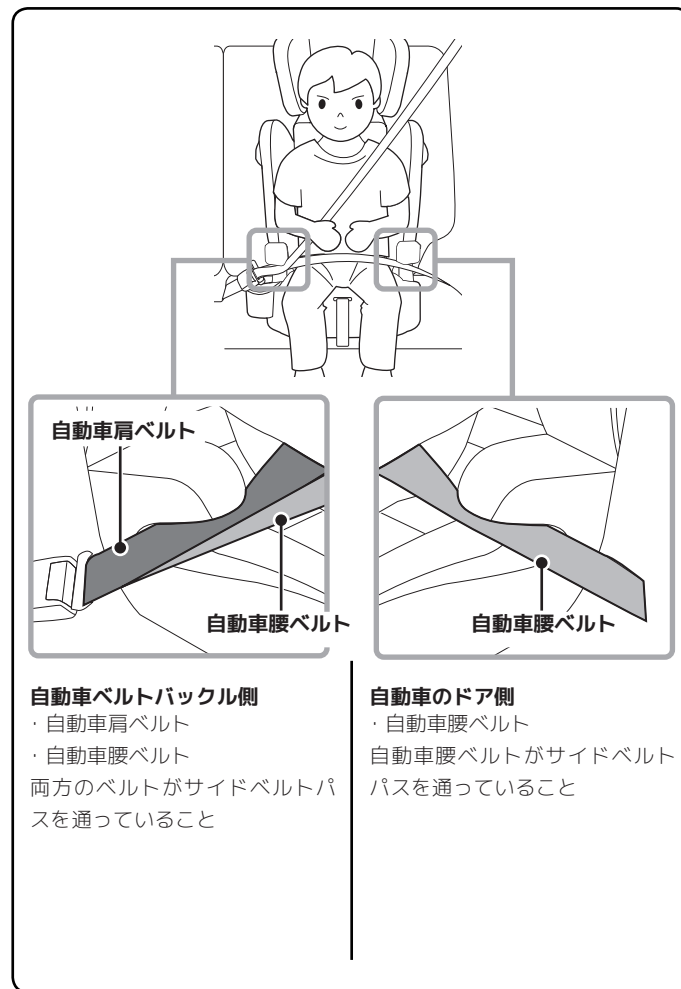
参照：P47 ヘッドレストの高さ調節

⚠ 危険**肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること**

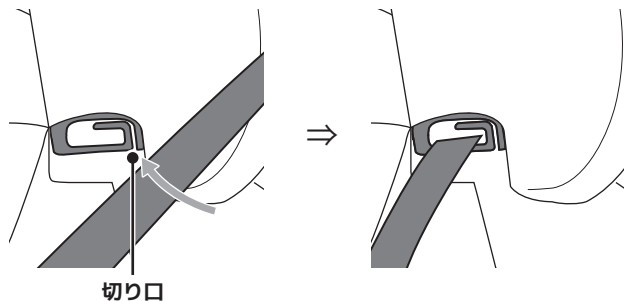
肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 05** 自動車シートベルトをねじらないように注意して、自動車ベルトバックル側の、①サイドベルトパスに自動車肩ベルトと自動車腰ベルトを通し、自動車のドア側の、②サイドベルトパスに自動車腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。
右図をあわせてご確認ください。



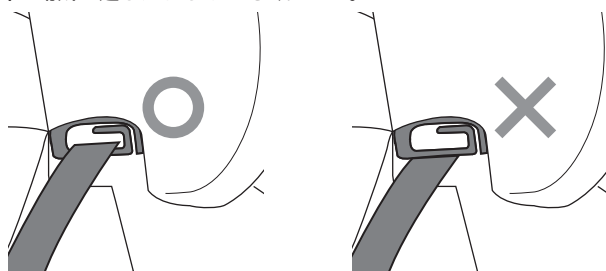
- 06** 自動車肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。
肩ベルトガイドの切り口に自動車肩ベルトを差し入れて通してください。
自動車肩ベルトをねじらないようにしてください。



警告

肩ベルトガイドに正しく自動車肩ベルトを通すこと

自動車肩ベルトを、肩ベルトガイドの下を通したり、肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



- 07** 肩ベルトガイドに自動車肩ベルトを通した状態で、もう一度、自動車肩ベルトの高さと位置を確認します。肩ベルトガイドの高さが不適切な場合は、再度、ヘッドレストの高さを調節し、肩ベルトガイドの位置を調節してください。
また、肩ベルトが、正しい位置を通るようにしてください。
正しい位置より外側、内側を通っている場合は、肩ベルトガイドの高さを調節するか、本製品の設置位置を微調整して、必ず、正しい位置を通るようにしてください。

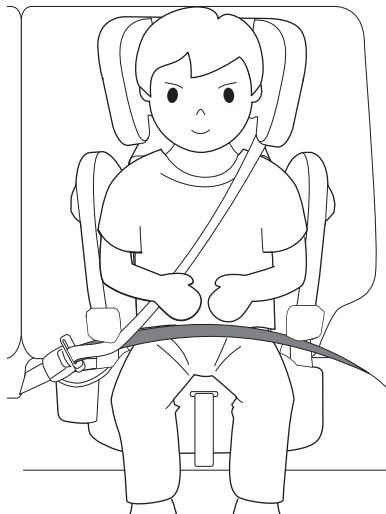


危険

必ず、正しい位置を通すこと

自動車肩ベルトが、正しい位置よりも、お子さまの首側にあると、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがお子さまの首を圧迫し、大変危険です。正しい位置よりも外側の場合には、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがすり抜け、お子さまが飛び出るおそれがあります。

08 お子さまの骨盤の上に自動車腰ベルトが通るようにします。



警告

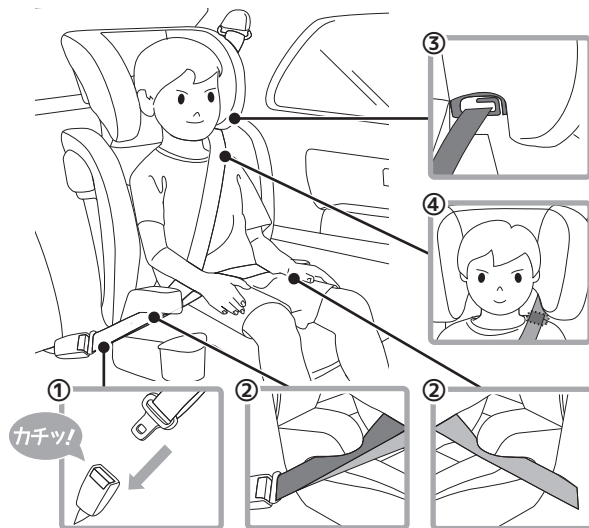
自動車バックルに手を触れないよう言い聞かせること

お子さまが自動車バックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

常日頃から、自動車バックルには手を触れないよう、言い聞かせるようにして、本製品の使用中は、適宜、安全の確認をするようにしてください。

09 最後に、もう一度、以下のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の該当か所の指示に従い適切な状態に修正してください。



チェックリスト

- ① 自動車バックルが確実に留まっていること
自動車シートベルトにねじれがないこと
自動車腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ② 自動車肩ベルトと自動車腰ベルトが、左右それぞれ正しくサイドベルトパスを通っていること
- ③ 自動車肩ベルトが、肩ベルトガイドを正しく通っていること
- ④ 自動車肩ベルトがお子さまの肩の「安全な範囲」に収まっていること

お子さまの降ろしかた

- 01 自動車バックルを外して、お子さまを降ろしてください。
- 02 ファーストモードと異なり、本製品は、座席に固定されていませんので、車外に取り出してください。
本製品を、固定しないで車内に置かないでください。



警告

本製品を車外に取り出すこと

固定されていない本製品を車内に置くと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品を適当な方法で自動車内に固定するか、トランクに移動させるか、車外に出すなどしてください。

ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

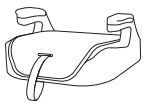
お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、自動車肩ベルトの高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

シートモードでの使いかた

シートモードは、体重 22kg（身長 125cm 以上）から体重 36kg まで使用できます。身長 125cm 以上になるまで使用しないでください。

セカンドモードと異なり、シートバックを取り外し、シートのみの状態で使用します。

お子さまが成長し、体重 15kg 以上かつ身長が 125cm 以上になり、本製品のシートバックの使用が適さなくなったら、シートバックを取り外して使用します。

使用できる期間 お子さまの体重	特徴
シートモード 22kg～36kg まで 目安年齢：6 歳～12 歳頃	 お子さまが成長し、本製品のシートバックの使用が適さなくなったら、シートバックを取り外して使用します。



危険

体重 36kg を超えたら本製品を使用しないこと

本製品は、最大体重 36kg までの使用が可能です。これを超えた場合は、本製品の使用を中止してください。

シートバックの外しかた

ポイント！

以下の説明は、セカンドモードからの切り替えの内容となっています。
ファーストモードからの切り替えの場合は、あらかじめ幼児ベルトを
取り外す必要があります。P72「幼児ベルトの取り外し」を参照して、
幼児ベルトを取り外してください。

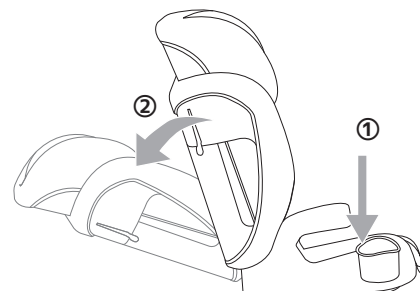
参照：P72 幼児ベルトの取り外し

⚠ 注意

作業中は、お子さまを近づけないこと

お子さまが、挟まれてケガをするおそれがあります。自動車内では行わ
ず、室内の安全な場所で、お子さまを近づけないで行ってください。

- 01 ①シート座面を押さえながら、②シートバックを押して後ろに倒し
ます。取り付けは固めですので、勢い良く後ろに倒さないようにご
注意ください。

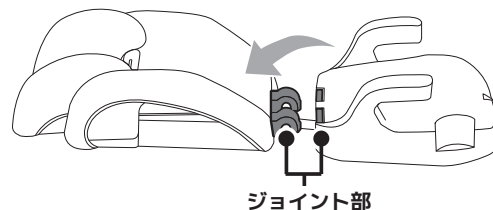


⚠ 注意

勢いよく倒れるおそれがあります

シートバックが勢いよく倒れるおそれがありますので、シートバック側
にクッションなどをおいて作業すると安心です。

- 02 ジョイント部を外し、シートからシートバックを取り外します。



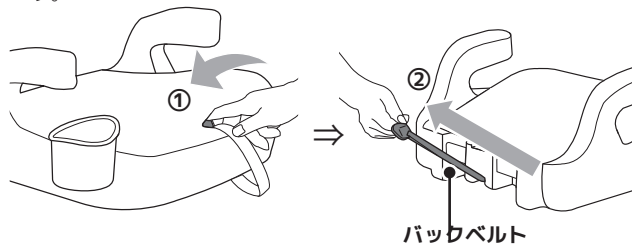
⚠ 注意

シートバックを大切に保管してください

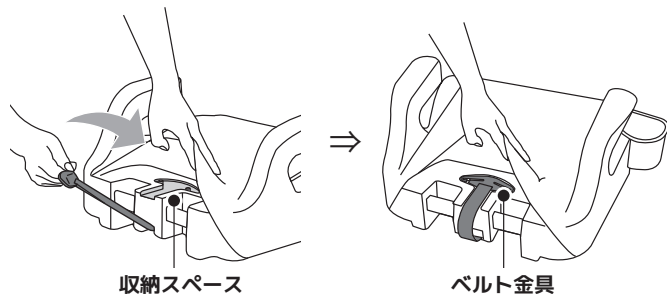
シートバックは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

セカンドモードからの切り替えの場合、以下 03 ～ 05 の操作は必要ありません。

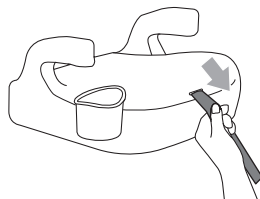
- 03 ①アジャストボタンを押し込み、②バックベルトを少し引き出します。



- 04 シートのカバーを少しめくりあげ、ベルト金具を収納スペースに収めます。バックベルトをねじらないように注意してください。



- 05 アジャストベルトを引き、バックベルトのたるみをなくします。



- 06 ポジションクリップを、取り付けます。
ポジションクリップにより、自動車肩ベルトをお子様の肩の位置に調節します。

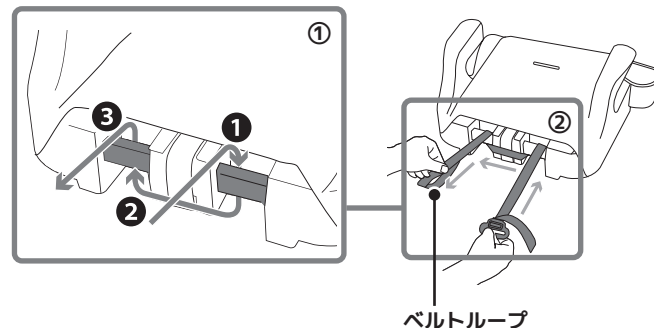


⚠ 警告

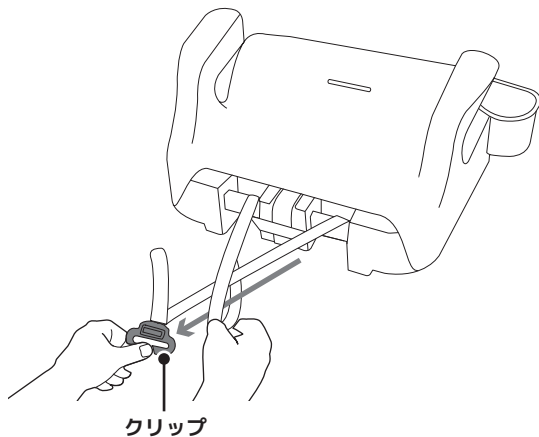
ポジションクリップを必ず使用すること

シートモードで使用する場合、必ずポジションクリップを使用してください。ポジションクリップを使用せず、直接、自動車シートベルトを着用すると、自動車肩ベルトが適切な位置を通らず、大変に危険です。

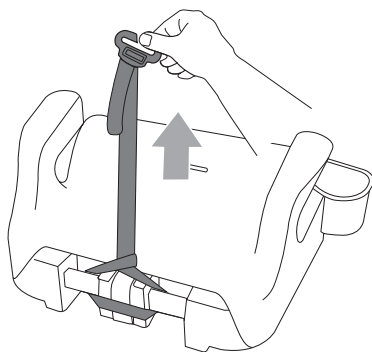
- 07 ポジションクリップの、ベルトループ側を、ジョイント部に差し入れます。①矢印の番号順で、ジョイント部に差し入れます。ポジションクリップのベルトの向きに注意して、ベルトをねじらないようにしてください。下図②のような状態にします。



- 08 ベルトループの中にクリップを通します。ベルトをねじらないように注意してください。

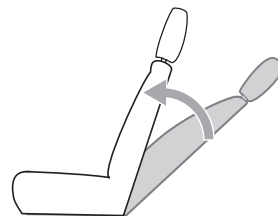


- 09 クリップを上強く引いて、締め付けます。



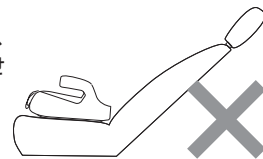
お子さまの座らせかた

- 01 本製品を使用する座席がリクライニング可能な場合は、立てた状態にします。



⚠ 危険

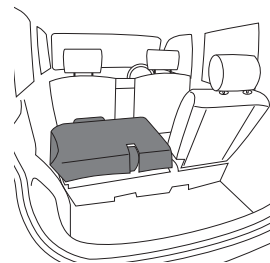
座席のリクライニングを倒さないこと
座席のリクライニングを倒した状態では、本製品を正しく使用することができません。



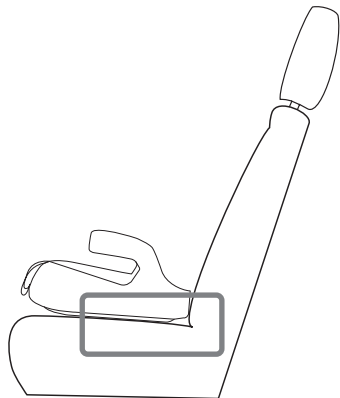
⚠ 危険

可倒式の座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 02** ポジションクリップを、シートの上か、横に出して、本製品を前向きにしておきます。
シートの底面がシート座面につけ、後部がシート背もたれに接するようにしてください。



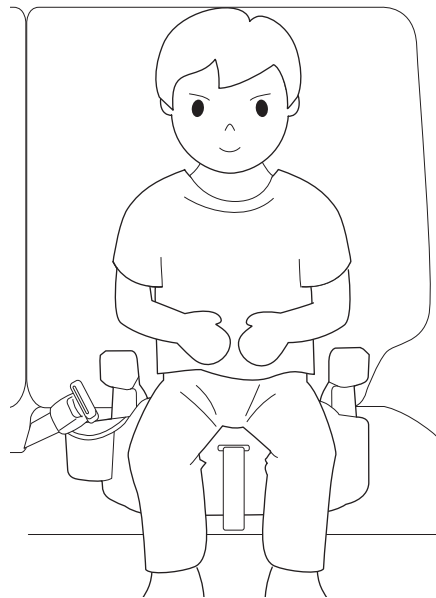
⚠ 注意

ポジションクリップをシートの下に敷かないようにしてください。
ポジションクリップは、自動車シートベルトを着用するために必要です。

👉 ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の場合の説明です。

- 03** あらかじめ、ポジションクリップを、シートの横側に出しておきます。
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、シートの中央に座らせてください。

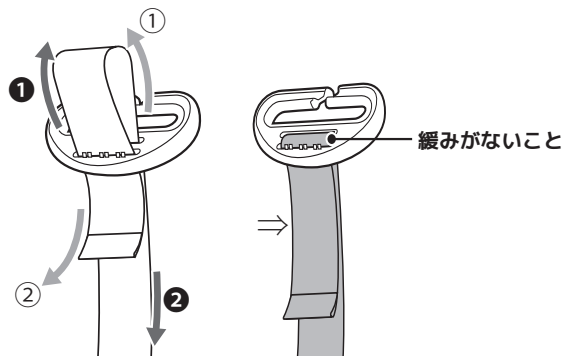


⚠ 注意

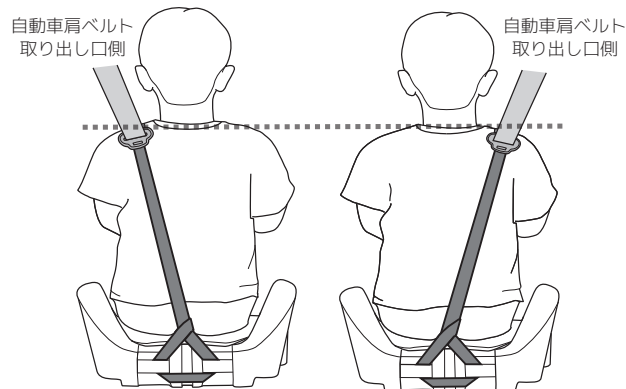
ポジションクリップの上に座らないようにしてください。
ポジションクリップは、自動車シートベルトを着用するために必要です。

ポジションクリップの過熱にご注意ください。
真夏など、ポジションクリップが過熱している場合があります。やけどしないよう、使用前にポジションクリップの温度をご確認ください。

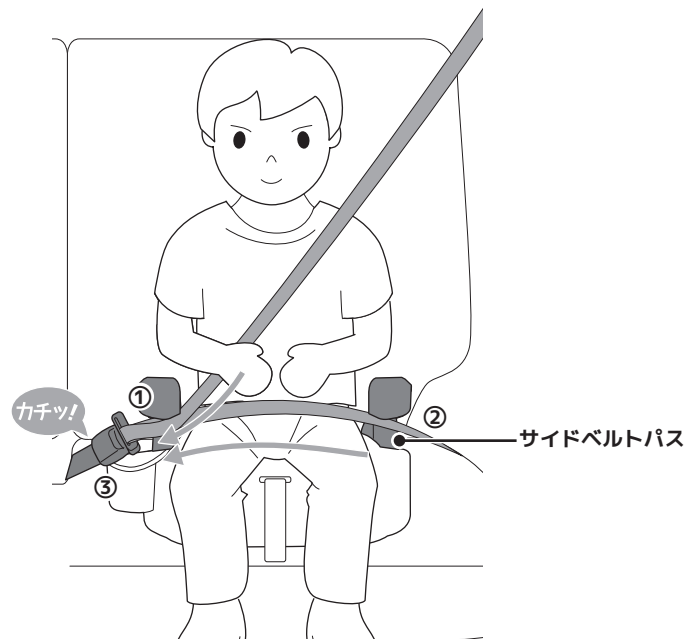
- 04** ポジショクリップには、自動車肩ベルトを通します。適切な高さになるよう、ポジショクリップの長さ（高さ）を調節します。
 短くする場合は、①緩めて、②引きます。
 長くする場合は、①緩めて、②引きます。
 調節後は、必ず、緩みをなくしてください。

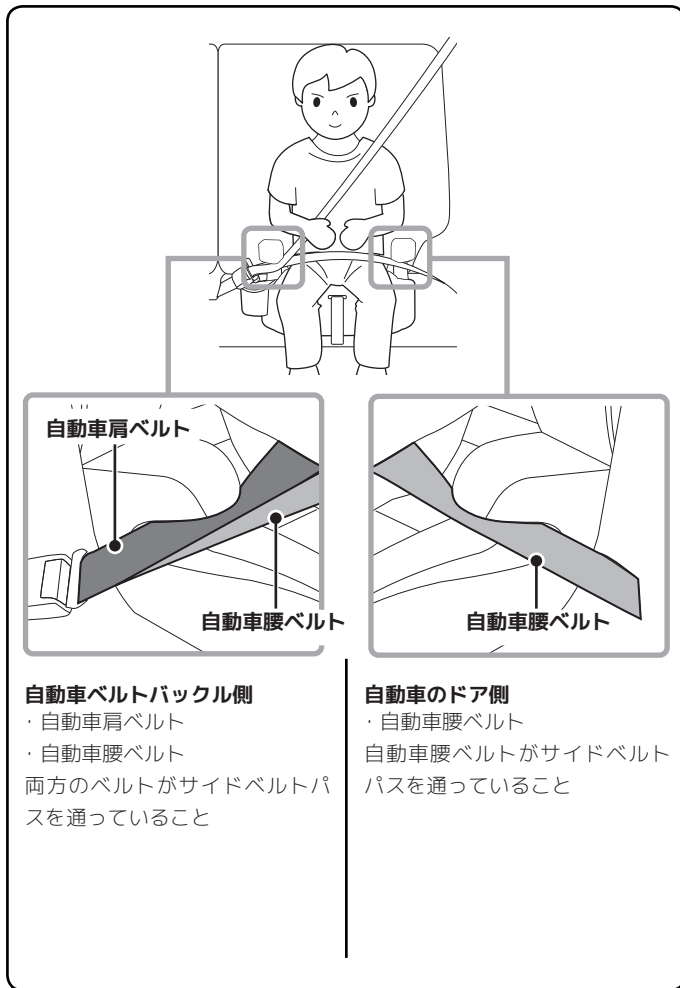


- 05** ポジショクリップは、下図のように、お子さまの肩の高さに調節します。

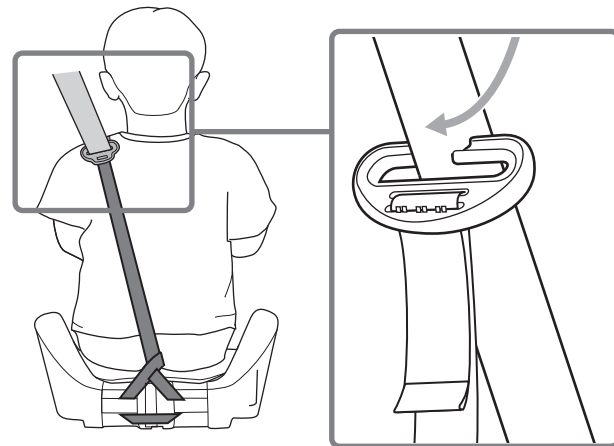


- 06** 自動車シートベルトをねじらないように注意して、自動車ベルトバックル側の、①サイドベルトパスに自動車肩ベルトと自動車腰ベルトを通し、自動車のドア側の、②サイドベルトパスに自動車腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。
 次ページの図をあわせてご確認ください。

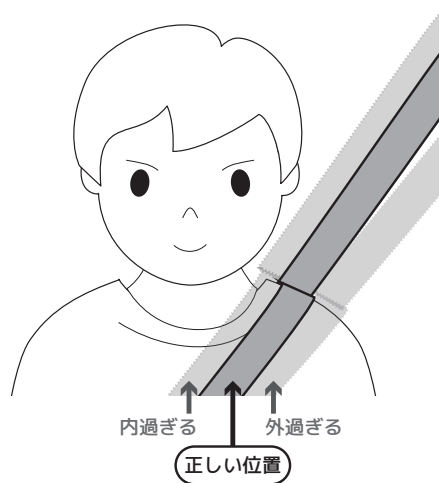




07 自動車肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、ポジションクリップの切り口に差し入れます。



- 08** ポジションクリップに自動車肩ベルトを通した状態で、もう一度、自動車肩ベルトの高さと位置を確認します。ポジションクリップの高さが不適切な場合は、再度、ポジションクリップの長さを調節し、自動車肩ベルトの位置を調節してください。
- また、肩ベルトの位置が、正しい位置を通るようにしてください。「安全な範囲」より外側、内側を通っている場合は、ポジションクリップの高さを調節するか、本製品の設置位置を微調整して、必ず、正しい位置を通るようにしてください。

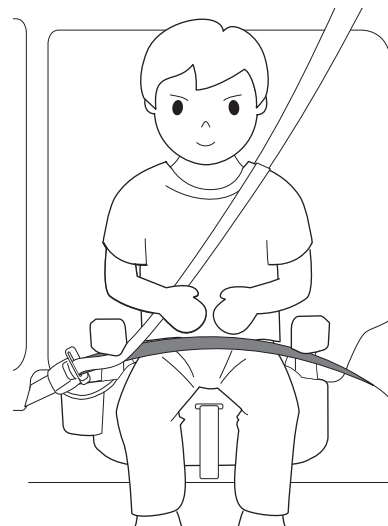


⚠ 危険

必ず、正しい位置を通すこと

自動車肩ベルトが、正しい位置よりも、お子さまの首側にあると、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがお子さまの首を圧迫し、大変危険です。正しい位置よりも外側の場合には、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがすり抜け、お子さまが飛び出るおそれがあります。

- 09** お子さまの骨盤の上に自動車腰ベルトが通るようにします。



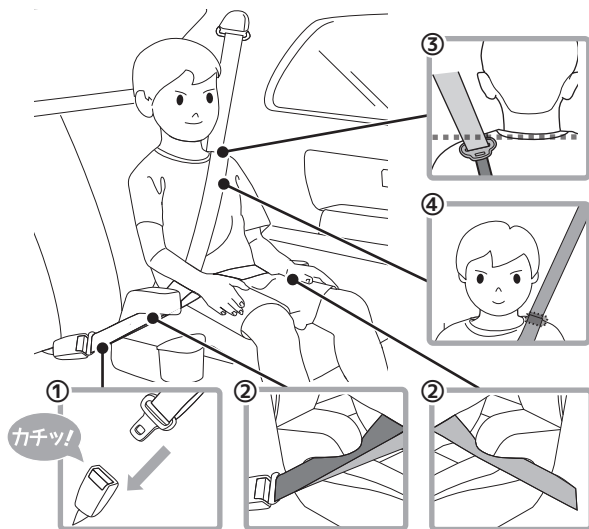
⚠ 警告

自動車バックルに手を触れないよう言い聞かせること

お子さまが自動車バックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

常日頃から、自動車バックルには手を触れないよう、言い聞かせるようにして、本製品の使用中は、適宜、安全の確認をするようにしてください。

- 10 最後に、もう一度、以下のチェックリストを確認してください。
適切でない部分があれば、本書の該当か所の指示に従い適切な状態に修正してください。



チェックリスト

- ① 自動車バックルが確実に留まっていること
自動車シートベルトにねじれないこと
自動車腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通過していること
- ② 自動車肩ベルトと自動車腰ベルトが、左右それぞれ正しくサイドベルトパスを通過していること
- ③ ポジションクリップの高さが適切に調節され、自動車肩ベルトが、ポジションクリップを正しく通過していること
- ④ 自動車肩ベルトがお子さまの肩の「安全な範囲」に収まっていること

お子さまの降ろしかた

- 01 自動車バックルを外して、お子さまを降ろしてください。
- 02 ファーストモードと異なり、本製品は、座席に固定されていませんので、車外に取り出してください。
本製品を、固定しないで車内に置かないでください。



警告

本製品を車外に取り出すこと

固定されていない本製品を車内に置くと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品を適当な方法で自動車内に固定するか、トランクに移動させるか、車外に出すなどしてください。

ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろするたびに、自動車肩ベルトの高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

お手入れのしかた

カバー類の外しかた

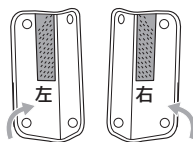
- 01** ファーストモードでご使用いただいている場合は、P72 ～ P75「幼児ベルトの取り外し 01 ～ 05」を参照して、肩ベルトパッドを取り外してください。



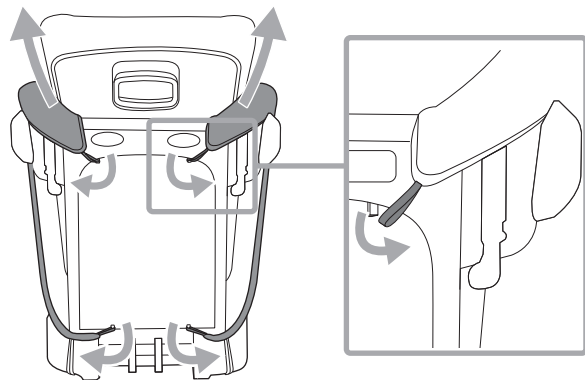
注意

肩ベルトパッドの向きに注意すること

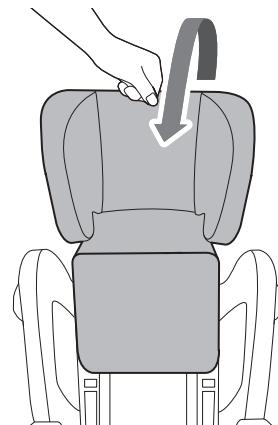
肩ベルトパッドを取り付け直す場合、左右、上下を間違わないように注意してください。ホックボタンを外側にして、面ファスナーのある方を上にして取り付けます。



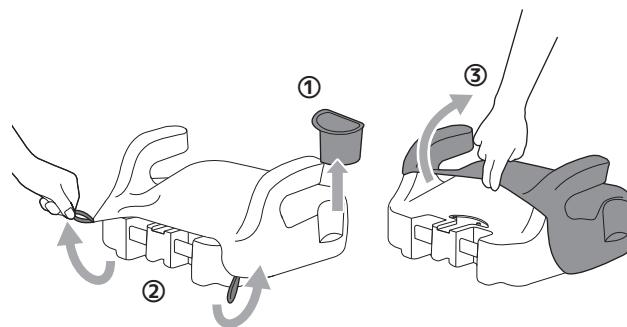
- 02** シートバック背面の上下4か所でカバーを留めているゴムバンドを外して、カバーを取り外します。



- 03** ヘッドレストのカバーは、ヘッドレストに被せられています。ゴム縁をヘッドレストから外して、カバーを取り外します。



- 04** ①あらかじめ、カップホルダーを取り外しておきます。②シート後部の裏側2か所でカバーを留めているゴムバンドを取り外して、③カバーを前方に向かって取り外します。



05 シートのカバー類の取り付けは、逆の手順で行ってください。

警告

パッド類、カバー類などの部品を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。カバー類や、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

注意

衝撃吸収材を破損しないようにゆっくりと取り外すこと

勢いよく取り外すと、衝撃吸収材が破損したり、シートのカバーが破損したりするおそれがあります。

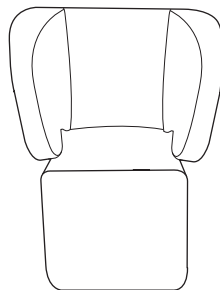
引っかけた感じがする場合は、無理をせず、引っかけがないか確認するようにしてください。

取り外したパッド類、カバー類はお子さまの手の届かない場所でお手入れ、保管してください

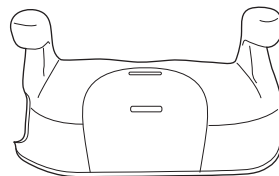
お子さまが口にしたり、おもちゃにするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。パッド、カバー類を取り外した本製品は使用できませんので、同じくお子さまの手の届かない場所で保管してください。

パッド、カバー類の洗いかた

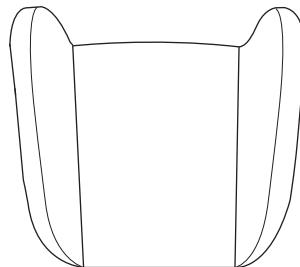
取り外したパッド、カバー類は洗うことができます。



ヘッドレストカバー



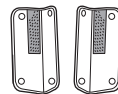
シートカバー



シートバックカバー



股ベルトパッド



肩ベルトパッド

01 以下の表示に従って、パッド、カバー類をお手入れします。

- ・ **30℃以下の水で洗ってください。**
手洗いの上、軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- ・ **アイロンは使用できません**
破損、縮みの原因となります。
- ・ **タンブラー乾燥はしないでください**
破損、縮みの原因となります。
- ・ **ドライクリーニングはできません**
破損、縮みの原因となります。
- ・ **有機溶剤、原液の中性洗剤を使用しないでください**
ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。
- ・ **漂白剤は使用できません**
劣化を早め、変退色の原因となります。
- ・ **きつく絞らないでください**
型崩れ、変形の原因となります。



⚠ 注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でシートカバー、ヘッドレストのカバー、ソフトパッドを洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

ベルト類・本体のお手入れ

- 01 お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。
- 以下の表示に従って、お手入れします。

- ・ **研磨剤、有機溶剤は使用しないでください**
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・ **水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください**
- ・ **潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください**
- ・ **市販のウエットタオル（ウエットティッシュは使用しないでください。）**
含まれる成分によっては、樹脂部品に悪影響をおよぼすおそれがあります。

⚠ 危険

絶対に潤滑剤を使用しないこと

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

⚠ 注意

濡れたままカバー類を取り付けないこと

さび、かび、劣化の原因となりますので、カバー類は十分に乾かしてからシェルに取り付けてください。また、本体を濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

衝撃吸収材（発砲フォーム）は取り外しできません

衝撃吸収材など、本書に指示のない部位、部品は、本体から取り外さずにお手入れしてください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を座席から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

本製品に関するお問い合わせ先：株式会社カトージ お客様サービス
電話：0568-67-5701 平日 10 ～ 17 時（土日祝日を除く）
<http://www.katoji.co.jp/>

（輸入販売元）

株式会社カトージ

〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

